

労働力調査（基本集計）

2020年（令和2年）1～3月期平均

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6693万人と、前年同期に比べ36万人の増加
- ・ 完全失業者数は165万人と、前年同期と同数
- ・ 完全失業率（原数値）は2.4%と、前年同期と同率

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北関東・甲信、北陸、近畿、九州及び沖縄は増加、東海、中国及び四国は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、北関東・甲信、北陸及び東海は増加、北海道、南関東、近畿、四国及び沖縄は同数、東北、中国及び九州は減少
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.5%	(0.3ポイント低下)	近畿	2.7%	(前年同期と同率)
東北	2.6%	(0.3 ")	中国	2.2%	(0.3ポイント低下)
南関東	2.4%	(前年同期と同率)	四国	2.1%	(前年同期と同率)
北関東・甲信	2.4%	(0.2ポイント上昇)	九州	2.7%	(0.2ポイント低下)
北陸	1.9%	(0.1 ")	沖縄	3.0%	(0.5ポイント上昇)
東海	1.9%	(0.2 ")			

図1 地域別完全失業率

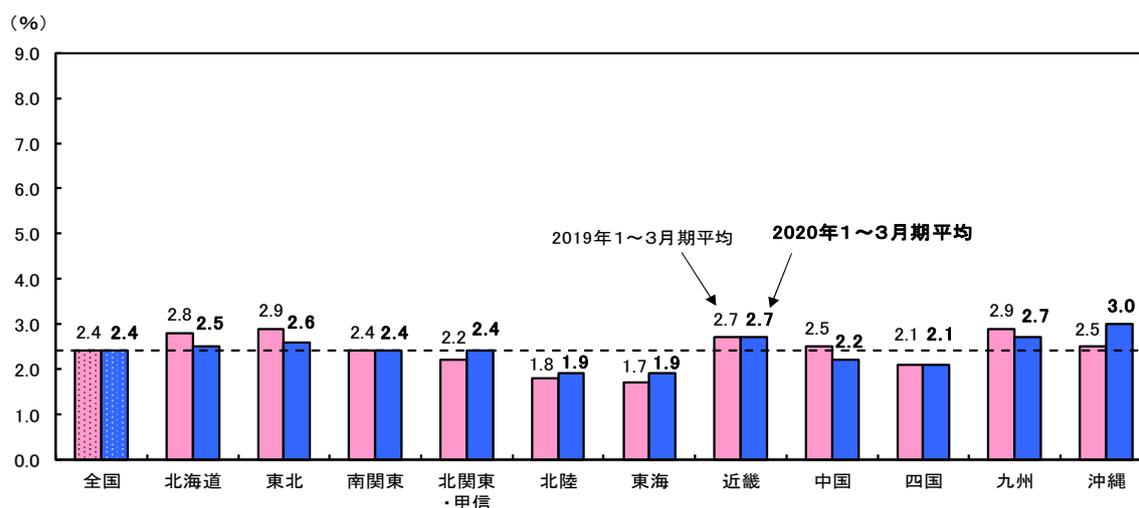


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

